



第 201 号

昭和 57 年 2 月 25 日

依頼者 大日技研株式会社 殿

財団法人 日本眼病研究会 学協会
 附属 東京眼科研究所 究 所
 東京都小金井市東小金井 4-8-1
 電話 0423(23) 1437

試 験 成 績 書

品 名 ソニマック超音波治療器

試験項目 眼組織に対する過酷投射試験

昭和56年10月1日 当協会に提出された検体について、
下記の試験成績を得たので報告致します。

記

1. 試 験 操 作 法

白色系 2,7Kg~3,2Kg ♂ 家兎 (日本医科学動物舎) 6羽 (No.1~No.6) を用い、
目の周囲の毛を刈り脱毛剤を塗布し (写真・3参照)、脱毛後 / 日を経過後、/
日に4時間、兎を固定装置 (写真・2参照) に入れ、顔の部分をテープで固定し
て動かないようにした投射部位眼 (左眼) の閉瞼上に検体機器の導子頭面を密着
して当てがい (写真・4参照)、No. / ~No. 6 の各検体によるNo. / ~No. 6 の各兎に
対する (表・1参照) ソニマック超音波治療器発振超音波の過酷投射試験を実施
した (写真・5参照)。但し、投射期間は / 週間連続投射とした。

2. 試 験 結 果

判 定 :

(1) 外 観 的 所 見

イ) 投射期間終了直後ならびに解剖に及ぶまでの間における外観的所見で、角